

2022年度事業報告(たすけあい支援部)

取組事業の要旨		22年度計画	22年度実績	計画 & 実績																																																								
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																													
◇現行三和地区行動計画基本理念 『みんながつながる、支え合い・助け合う三和を+7:11つくろう』 <基本理念に基づき下記を推進事業の柱とした活動を推進> ◇公的サービスではまかないきれない日常生活上の生活課題を解決するために、有償による住民相互のたすけあい運動に取組み、住民参加型の地域福祉活動を推進する。		1) 具体的取組みを推進するため部会を基軸とする。 2) 市内各地協の取組状況を部会・役員会へ反映し、活動の質的向上に努める。	1) 情報伝達と意思疎通を目的に4回/年の部会開催に取組んだ。 2) 9月にコーディネーター会議を開催し円滑な支援活動の推進に努めた。 3) 6月に支援会員の継続意向調査を実施した。	☆計画 ★実績			☆部会 ★6月 支援会員継続意向調査 ★6/15 部会	☆部会 ★9/15 コーディネーター会議 ★9/16	☆部会					☆部会 ★3/22 部会																																														
		I. たすけあい支援部員当番制による受付業務の継承	1) 登録部員13名中、11名で受付シフトを組み、月・水・金の9時～14時半での受付業務に対応した。(195名/年/延べ人員) 2) 受付業務対応時間は年間1,072.5時間(対前年187時間増)となった。		<table border="1"> <caption>月別受付業務対応時間(月累)</caption> <tr><th>月</th><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr> <tr><th>時間</th><td>94</td><td>116</td><td>104</td><td>88</td><td>88</td><td>99</td><td>61</td><td>66</td><td>88</td><td>121</td><td></td><td></td></tr> </table>		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間	94	116	104	88	88	99	61	66	88	121			<table border="1"> <caption>月別受付業務対応人員(月累)</caption> <tr><th>月</th><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr> <tr><th>人員</th><td>16</td><td>15</td><td>21</td><td>19</td><td>13</td><td>16</td><td>16</td><td>18</td><td>11</td><td>12</td><td>16</td><td>22</td></tr> </table>		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	人員	16	15	21	19	13	16	16	18	11	12	16	22
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																
時間	94	116	104	88	88	99	61	66	88	121																																																		
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																
人員	16	15	21	19	13	16	16	18	11	12	16	22																																																
		II. 『つなぐ』を基調に住民依頼を各コーディネータと調整する。 * コーディネータ不足を課題に対応策を検討する。	1) 22年度依頼に基づく作業件数(コーディネイト件数)は、180件(対前年51件増)となった。 2) 支援員(現在22名)の年間稼働人員累計は279人。月均等人員は、23.25人が稼働。		<table border="1"> <caption>月別作業件数</caption> <tr><th>月</th><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr> <tr><th>件数</th><td>3</td><td>22</td><td>20</td><td>26</td><td>19</td><td>23</td><td>21</td><td>17</td><td>18</td><td>3</td><td>5</td><td>3</td></tr> </table>		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	件数	3	22	20	26	19	23	21	17	18	3	5	3	<table border="1"> <caption>月別支援員延べ稼働人員</caption> <tr><th>月</th><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr> <tr><th>人員</th><td>6</td><td>39</td><td>40</td><td>45</td><td>27</td><td>32</td><td>33</td><td>19</td><td>26</td><td>3</td><td>6</td><td>3</td></tr> </table>		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	人員	6	39	40	45	27	32	33	19	26	3	6	3
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																
件数	3	22	20	26	19	23	21	17	18	3	5	3																																																
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																
人員	6	39	40	45	27	32	33	19	26	3	6	3																																																
		III. 依頼内容の分析に基づく今後の対応課題を整理する。 * 制度利用者拡大・支援会員募集に向けたPR促進施策を広報部と連携する。	1) 利用会員195名(対前年23名増)となり利用者は着実に増加してきている。 2) 支援会員の高齢化等に伴いコーディネーター(前年7名→本年4名)支援会員(前年74名→本年24名)と大幅な減となった。		<p><地区別利用会員・支援会員・作業件数一覧></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>市西</th> <th>養老</th> <th>海上</th> <th>光風台</th> <th>地区計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用会員数</td> <td>47</td> <td>29</td> <td>15</td> <td>104</td> <td>195</td> </tr> <tr> <td>支援会員数</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>作業件数</td> <td>51</td> <td>33</td> <td>11</td> <td>85</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table> <p>2022.6 実施 支援会員継続意向調査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>市西</th> <th>養老</th> <th>海上</th> <th>光風台</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査前</td> <td>17(2)</td> <td>17(2)</td> <td>13(1)</td> <td>27(2)</td> <td>74(7)</td> </tr> <tr> <td>調査後</td> <td>8(1)</td> <td>4(1)</td> <td>6(1)</td> <td>11(1)</td> <td>29(4)</td> </tr> </tbody> </table>			市西	養老	海上	光風台	地区計	利用会員数	47	29	15	104	195	支援会員数	8	4	6	11	29	作業件数	51	33	11	85	180		市西	養老	海上	光風台	合計	調査前	17(2)	17(2)	13(1)	27(2)	74(7)	調査後	8(1)	4(1)	6(1)	11(1)	29(4)	<p>★9月</p> <p>★12月</p>											
	市西	養老	海上	光風台	地区計																																																							
利用会員数	47	29	15	104	195																																																							
支援会員数	8	4	6	11	29																																																							
作業件数	51	33	11	85	180																																																							
	市西	養老	海上	光風台	合計																																																							
調査前	17(2)	17(2)	13(1)	27(2)	74(7)																																																							
調査後	8(1)	4(1)	6(1)	11(1)	29(4)																																																							
		IV. 市原市第6次地域福祉活動計画の求めに応じ、新たな取組みの在り方について、三和地区社協の行動計画推進委員会の検討経過を反映した計画推進とする。	1) 現支援活動の検証を基に新たな支援活動の可能性について検討した。 2) 継続的な活動支援のため支援会員の意向調査を実施した。 3) 地域で孤立しない取組みのPRに努めた。		<p>11/4、日常生活交流会で、当地区の「たすけあい三和」の事業について発表した。</p> <p>2/22、市社協主催の研修会(日常生活担い手養成講座)に参加し、当地区の「たすけあい三和」の事業紹介を実施した。</p>		<p>★2/22 市社協研修参加</p>																																																					

広報紙さわがせにてたすけあい支援員募集のPRを9月・12月に実施した。

取組事業の要旨		22年度計画	22年度実績	計画 & 実績											
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>◇ 基本目標→みんなが安心・安全に暮らせる地域づくり</p> <p>1) 地域住民の緊急時の対応体制の構築 (緊急時連絡カードの配布・更新)</p> <p>2) 子供の安全・安心を守る活動の推進 (登下校の児童見守り・あいさつ・声掛け運動)</p> <p>3) 地域の安全を守る活動の推進 (危険個所の点検と改善、防犯パトロール)</p> <p>4) 災害時のたすけあい活動の意識啓もう啓発、災害に強い地域づくり(災害支援ボランティア事業)</p>		<p>1) 市内各地協の取組み情報の収集(市社協との連携)をはかり、三和地区活動の向上に努める。</p> <p>2) 部会の定期開催に注力し、地域の声を安心・安全部の活動に取込む。</p> <p>3) 地域の防災意識の高揚を目指し、町会長と連携した合同防災研修会を企画する。</p>	<p>1) 市内各地区の防災取組みの情報収集は未達となった。(次期への課題とする)</p> <p>2) 部会は2回/年を開催。</p> <p>3) 自主研修会は、三和地区の災害ボランティア設置訓練に取組むことになり、研修に替えて設置訓練に取組んだ。</p>		☆部会				☆部会		☆部会	☆合同研修		☆部会	
<p>I. 地域の安心・安全を守る事業</p> <p>1) 医療緊急時連絡カードの地区内全戸配布・更新を進める。</p> <p>2) 高齢者宅への定期訪問活動を通じ、安心して生活できる地域づくりを進める。</p> <p>3) 地域内の危険箇所等の点検活動を通じ、その改善に努める。</p>		<p>・2018年度に策定された三和地区行動計画に沿って、左記事業は各ネットワークの主体的な取組みとして定着するに至っている。</p> <p>・したがって、安心安全部の機能としては、各ネットワークおよび安全施策に係わる団体との連携を主体とし、地区全体としての取組み状況をまとめることで、各活動の継続的な推進に努めるものとする。</p>	<p>I-1) 医療緊急カード更新実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養老 NW → 110 戸 ・市西 NW → 93 戸 ・海上 NW → 400 戸 ・光風台NW → - 戸 * 地区全体 → 603 戸 <p>I-2) 安心生活見守り事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養老 NW → 469 戸 ・市西 NW → 625 戸 ・海上 NW → 436 戸 ・光風台NW → 271 戸 * 地区全体 → 1,801 戸 <p>I-3) 地域内危険箇所点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未達となった。 	<p><医療緊急時連絡カード更新></p> <p>← 更新時期は異なるものの各ネットワーク単位で事業計画 →</p> <p>← 養老地区110戸更新 →</p> <p>← 海上地区400戸更新 →</p> <p>← 市西地区93戸更新 →</p> <p><安心生活見守り事業></p> <p>← 各ネットワーク単位で1~2回の見守り訪問事業を計画 →</p> <p>← 養老地区 / 年間見守り訪問延べ回数 469 回 →</p> <p>← 市西地区 / 年間見守り訪問延べ回数 625 回 →</p> <p>← 海上地区 / 年間見守り訪問延べ回数 436 回 →</p> <p>← 光風台地区 / 年間見守り訪問延べ回数 271 回 →</p> <p><児童登下校見守り事業></p> <p>← 各ネットワーク単位で各月次の登校見守り事業を計画 →</p> <p>← 養老地区 / 年間児童登校見守り延べ回数 394 回 →</p> <p>← 市西地区 / 年間児童登校見守り延べ回数 1,831 回 →</p> <p>← 海上地区 / 年間児童登校見守り延べ回数 17 回 →</p> <p>← 光風台地区 / 年間児童登校見守り延べ回数 一回 →</p> <p>★三和地区全体更新戸数 603 戸</p> <p>★三和地区全体訪問数 1,801 回/延べ</p> <p>★三和地区全体見守り数 2,242 回/延べ</p>											
<p>II. 子供の安全を守る事業</p> <p>1) 児童の安全確保を目的に登下校時の見守り活動に取組む。</p> <p>2) 防犯パトロール展開により、児童の安全確保に努める。</p>			<p>II-1) 児童登校見守り事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養老 NW → 394 回/延 ・市西 NW → 1,831 回/延 ・海上 NW → 17 回/延 ・光風台NW → - 回/延 * 地区全体 → 2,242 回/延 <p>II-2) 防犯パトロール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光風台地区を重点に活動頂いた。 												
<p>III. 災害支援ボランティア事業</p> <p>・災害時のたすけあい活動へ向けて、防災意識の啓発を目的とした学習活動を進める。</p>		<p>・地域防災の観点から町会長会との連携に基づき、地域防災研修を企画し、取組むこととする。</p>	<p>III. 防災支援ボランティア事業</p> <p>1) 防災自主研修は開催を見送った。</p> <p>2) 変わって、市社協と連携し三和地区全体を対象とした災害時ボランティアセンターの立上げ訓練を実施した。</p> <p>3) 加えて、広報紙「さわかせ」での防災意識啓蒙を図った。</p>	<p>★9/7発行 さわかぜ25号</p> <p>特集: 防災意識啓蒙 ・防災マップ更新情報 ・警報レベル更新情報</p> <p>災害ボランティア設置・運営訓練紹介 ・地域住民+市社協スタッフ→111名参加 ・反復訓練の必要性が認識される。</p> <p>★2/11実施 三和地区災害ボランティアセンター設置・運営訓練</p> <p>★3/1発行 さわかぜ27号</p>											

2022年度事業報告(広報部)

取組事業の要旨		22年度計画	22年度実績	計画 & 実績(見える化)											
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◇三和地区社協広報紙「さわかせ」の編集・発行	1)地区社協の動向を紙面を通じ地域住民に周知する。 2)紙面を通じ、地域福祉活動への理解と共感を深める。 3)話題性を高め、地域の主体的な自助努力の醸成を目指す。	1)年4回の定期発行(6・9・12・3月)を計画する 2)編集スキルアップへ向けた自主学習会を計画する。 3)発行前段での編集会議を計画し紙面内容の充実を目指す。	1)発効日を民児協月例日に合わせた発行計画とする。 2)自主スキルアップ学習を年1回予定する。 3)編集会議を適宜開催し、記事内容の企画を進める。			★6/1 24号発行			☆9/1 25号発行 ★9/125号発行			☆12/1 26号発行 ★12/126号発行		☆3/1 27号発行 ★3/1 27号発行	
		【第24号】6月発行予定 ☆具体的な記事内容は都度編集会議にて検討する。	【第24号】6月1日発行 ◎1面 ・地域福祉行動計画の見直し ・三和地区福祉バザー ◎2面 ・三和地区高齢者福祉施設紹介 ・回顧録シリーズ②		★5/10 編集会議									☆=計画 ★=実績	
		【第25号】9月発行予定 ☆具体的な記事内容は都度編集会議にて検討する。	【第25号】9月7日発行 ◎1面 ・呼び覚まそう災害の脅威 ・福祉バザー中止報告 ◎2面 ・三和地区高齢者福祉施設紹介 ・福増町会通いの場紹介 ・回顧録シリーズ③				★7/4 編集会議		★8/19 最終校正 ★8/28 仕分け ★9/7 発行						
		【第26号】12月発行予定 ☆具体的な記事内容は都度編集会議にて検討する。	【第26号】12月1日発行 ◎1面 ・進む地区福祉行動計画の見直し ・日常生活支援事業拡充たすけあい三和紹介 ◎2面 ・三和地区高齢者福祉施設紹介 ・新巻祭りばやし太鼓保存会 ・回顧録シリーズ④							★10/16 編集会議		★11/20 最終校正 ★11/27 仕分け ★12/1 発行			
		【第27号】3月発行予定 ☆具体的な記事内容は都度編集会議にて検討する。	【第27号】3月1日発行 ◎1面 ・光風台、養老、海上、各小域福祉ネットワーク歳末事業紹介 ・生活支援部アンケート結果報告 ◎2面 ・三和地区民生委員児童委員の新会長紹介 ・ボランティアセンター設置訓練 ・回顧録新シリーズ① 元千葉県警察本部 佐川良晴氏										☆1/17 編集会議 ★1/27 編集会議	★2/18 最終校正 ★3/1 発行	

2022年度 事業報告(生活支援部)

取組事業の要旨		22年度計画	22年度実績	計画 & 実績											
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◇基本目標→みんなが自由に楽しく暮らせる地域づくり		<ul style="list-style-type: none"> * 地域福祉としての生活支援部の活動の在り方を深堀する。 ・ 課題推進に向け、5回/年の部会開催を計画する。 ・ 買い物ツアーの実施を中心に情報共有と検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> * 生活課題の解決に向け、第2層協議体を年4回開催した。 ・ 買い物に困難さを抱える住民のために、買い物ツアーモデル地区(光風台)での実施。 ・ 他地区(市西・養老・海上)への拡大に向けた検討を行った。 	★=計画 ★=実績		★6/26 第1回協議体			★9/25 第2回協議体		★12/11 第3回協議体			★3/5 第4回協議体	
1) 高齢者地域支え合い事業 (第2層協議体)	* 地域包括ケアシステム構築への環境整備	<ul style="list-style-type: none"> * 買い物ツアー実施地区に於ける施策定着(充実) ・ 21年度取組み実施地区(光風台)での制度定着を目指す。 ・ 実施地区に於ける利便性の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> * 光風台地区において社会福祉法人清明会の協力(送迎)により、買い物ツアーを実施した。 ・ 月2回1日あたり3便を計画し、コロナ禍により中止した期間もあるが、年間20日・37便を運行し延べ84名が利用した。 ・ 前年度の1日あたり2便の運行から3便に増便し、利便性の向上を図った。 					★4~7月、10~3月 買い物ツアーの実施 年20日・37便運行、延べ84名が利用							
		<ul style="list-style-type: none"> * 他地区に於ける買い物ツアーの検討促進(拡充) ・ 各ネットワークとの調整(アンケート調査を踏まえた個別調査などの対象者の絞り込み) ・ 協力施設との調整(地域の社会福祉法人との連携) 	<ul style="list-style-type: none"> * 養老小域NWと連携し、買い物ツアーの希望調査を行った。 ・ 現行取組み(光風台)ツアーに試行的に参加するため、近隣地区である山田、二日市場、樫狭の3町会でニーズ調査を実施。 * 三和地区内の社会福祉法人を訪問し、車両・ドライバー含めた買い物ツアー事業への協力を依頼した。 					★8~3月 調査 3町会実施							
		<ul style="list-style-type: none"> * 地域の協力を得る共助の仕組み研究 	<ul style="list-style-type: none"> * 買い物ツアーと並ぶもう一つの地域支援施策として、ヤックスの協力による移動販売の導入も、町会・民生委員の協力の下に実施。 * 現行取組み町会以下 大桶→3ヶ所、川在→1ヶ所、新巻→1ヶ所、新堀→2ヶ所 計.7ヶ所 							★22年度4~3月 毎週水曜日/4町会 7カ所ので移動販売展開中					
		<ul style="list-style-type: none"> * 第6次市原市地域福祉活動計画に基づく、三和地区行動計画の見直しをベースとした生活支援部の活動方針を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> * 地域共通課題となる新たな生活支援施策の在り方の検討に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> * 新たな生活課題に向けた検討を行った。 ・ 地域包括支援センターひまわりから提供された事例を基に、今後の検討テーマを検討し、「ゴミ出し」に決定した。 											★3/5 第4回協議体
2) 相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> * 地域住民が気軽に相談できる場として、地区社協事業内で身近な相談を受け付ける。また、相談内容によっては専門機関等につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> * 子育てサロン事業に相談支援機能を付加させ、子育て家庭の身近な相談場所として専門職や専門機関等と連携を図りながら実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> * 子育てサロン実施時に相談支援事業を実施した。 ・ 毎月第4月曜日(8月・1月除く)実施。 ・ 年10回実施し、15名が利用した。 	★ 4/25	★ 5/23	★ 6/27	★ 7/25	★ 9/26	★ 10/24	★ 11/28	★ 12/19	★ 2/27	★ 3/13		

取組事業の要旨		22年度計画	22年度実績	計画 & 実績												
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<p>◇基本目標→地域の誰もが互いに支え合うコミュニティづくり <目標実現に向けた地区社協関連事業/市第6次活動計画></p> <p>1) 福祉バザー・歳末たすけあい募金事業 2) 共生型サロン事業(仮称)の推進(拡充) 3) 子供の居場所づくり活動の推進(新規)</p>		<p>1) 部会運営4回/年を計画</p> <p>2) 従来の取組に加え、フリーマーケットや来場者の憩いの場提供等、内容の検討を進める。</p>	<p>1) 4回/年の部会開催を計画していたが、バザー開催見送りの結果、3回/年の開催。</p> <p>2) 部会内では、地区行動計画の進捗含め、情報周知に努めた。</p>	<p>☆計画 ☆実績</p> <p>★4/23 №1部会</p> <p>★6/18 №2部会</p> <p>★10/29 №3部会</p> <p>★№4部会 中止</p>												
I. 歳末たすけあい事業	<p>・歳末たすけあい運動の財源確保を目的に福祉バザー事業、歳末たすけあい募金事業、いづれかに取組み、運動の主旨について理解を広める。</p> <p>・地域住民参加型の福祉事業としてその理解度を深める。</p>	<p>1) 三和地区としては福祉バザーを10/16(日)に開催する計画とした。</p> <p>2) 従来の取組に加え、フリーマーケットや来場者の憩いの場提供等、内容の検討を進める。</p>	<p>1) バザー献品減小対策としてフリーマーケットの併設を部会で確認。広報24号でPR。</p> <p>2) コロナ感染防止としてバザー中止通達を受け、歳末たすけあい募金に切り替えての取組みとした。</p> <p>3) なお、募金集計金額は295,339円の実績となった。</p>	<p>★6/1 広報紙24号 福祉バザー1次PR</p> <p>★6/1 広報紙24号 福祉バザー1次PR</p> <p>★9/7 広報紙25号 福祉バザー中止を広報</p> <p>★11/12・13 歳末助け合い募金受付</p> <p>→ 集計募金金額 ¥295,339</p>	<p>★9/7 広報紙25号 福祉バザー2次PR</p> <p>★10/7 広報紙直前PR ★10/15最終準備 ★10/16 福祉バザー開催予定日</p> <p>★12/7 広報紙26号 バザー結果広報</p>											
II. 共生型サロン(仮称)事業 <従来活動の拡充>	<p>・地域住民相互の交流とふれあいを広げる共生型サロン(仮称)への移行を目指す。</p> <p>・従来の支え手(世話役)と受け手(参加者)の関係を見直し、参加者みんなでの運営を目指す。</p> <p>・年齢や世代、障がいの有無に拘わらず誰もが参加できる運営。</p>	<p>1) 4月度以降の地区行動計画の見直しに伴い、行動指針に準じた取組みを検討していく。</p>	<p>1) 市6次計画に織り込まれた共生型サロンの取組みについては、地区行動計画の見直し・策定後に対応を進めることとした。</p> <p>2) なお、従来の取組みである子育てサロンについては、継続的な取組みとした。</p>	<p>地区行動計画見直しと併行した地域ニーズ収集</p> <p>共生型サロン対応方針・取りまとめ</p> <p>★4/26 №1 サロン</p> <p>★5/23 №2 サロン</p> <p>★6/27 №3 サロン</p> <p>★7/25 №4 サロン</p> <p>★9/26 №5 サロン</p> <p>★10/24 №6 サロン</p> <p>★11/28 №7 サロン</p> <p>★12/19 №8 サロン</p> <p>★2/27 №9 サロン</p> <p>★3/13 №10 サロン</p> <p>★子育てサロン取組み実績</p>												
III. 子供の居場所づくり活動 <新規>	<p>・子供たちの健やかな育ちを支援するために、地域における子供の居場所づくりに取組む。</p>	<p>1) 第6次市地域福祉活動計画(左記)をベースに、三和地区としての在り方をネットワークと連携しながら検討する。</p> <p>2) 三和地区として、市方針へのニーズ調査も含め、各ネットワークとのヒアリング等を進める。</p>	<p>1) 子供の居場所づくりについては上記同様に地区行動計画策定後の取組みとした。</p> <p>2) なお、本取組みについては、少子化の著しい当地区に於いては、実態としての取組みはハードルの高い課題かと思慮される。</p>	<p>取組み社協の情報収集</p> <p>三和地区社協方針・取りまとめ</p> <p>地区行動計画の策定に基づき次年度への課題とした</p>												
IV. 地域福祉事業の推進	<p>・歳末福祉事業を通じた地域福祉の増進。</p>	<p>1) 他社協の取組み情報収集</p> <p>2) 収集情報のフィードバック</p>	<p>1) 市西を除く小域福祉ネットワーク(養老・海上・光風台)でそれぞれ地域ニーズを踏まえた歳末福祉事業を展開。</p> <p>2) 地区広報紙さわかせ27号にてそれぞれの取組みを紹介した。</p>	<p>取組み社協の情報収集</p> <p>各ネットワークへの情報フィードバック</p> <p>各NW単位で独自の企画に基づき歳末福祉事業として、展開。 それぞれの取組みは、広報紙さわかせ27号(3/1発行)にて全戸へ広報。</p>												

2022年度事業報告(連携基盤づくり部)

取組事業の要旨		22年度計画	22年度実績	計画 & 実績											
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>◇基本目標→地域で安心して幸せに暮らすための基盤づくり</p> <p>1) 地域の特性に即した福祉活動を推進するための地区行動計画の具現化 (地区行動計画推進)</p> <p>2) 地域を支える担い手の発掘・育成 (人材育成事業・福祉教育推進事業・地域講演会の開催)</p> <p>3) 活動財源確保に向けた取組み強化 (賛助会員拡充等)</p>		<p>1) 地域の声を地区社協の施策へ反映させる目的の下に、部会としての機能を最大化する。</p> <p>2) 部会の定期開催に努め、連携の基盤づくりを進める。</p> <p>3) 第6次市原市地域福祉活動計画に基づく現行地区行動計画の見直しに取組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 部会定期開催を計画したものの実績は期末のみとなり、次期への課題を残す結果となった。 ● その背景として、部体制確認が5月末へズレ込んだ他、2年振りとなった賛助会員募集事業の再構築、更には地区行動計画の策定も重なり、事業優先とならざるを得なかった点もある。 ● これらを反省材料に時期計画の策定に反映させたい。 	<p>☆部会</p> <p>☆部会</p> <p>☆部会</p> <p>☆部会</p> <p>☆部会</p> <p>☆部会</p> <p>☆部会</p>	<p>・会員募集日程 ・依頼文書作成 ・集計方法確認 ・全体ロードマップ ・必要事項確認</p> <p>・取組最終確認 ・集計役割分担 ・集計日程確認 ・必要事項確認 ・その他</p> <p>・取組みまとめ ・人材育成情報 収集進め方 ・行動計画のまとめ</p> <p>・取組最終確認 ・集計役割分担 ・集計日程確認 ・必要事項確認 ・その他</p> <p>・人材育成講座</p> <p>年度総括</p>	<p>☆=計画、★=実績</p> <p>☆部会実施 → 3/4</p>									
1) 地区行動計画の推進	<p>・ 現行三和地区行動計画について、第6次市原市地域福祉活動計画に基づく見直しを推進する。</p>	<p>1) 現行の地区行動計画と第6次市原市地域福祉活動計画との整合を目的に、行動計画推進委員会を組織する。</p> <p>2) 本年度上半期を目標に見直し・整合を推進し、23年度からの行動実践に備える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市社協第6次行動計画策定に伴う、地区行動計画見直しに取組んだ。 ● 4/21地区行動計画推進委員会を設置し、計画見直しに着手。 ● 以降、役員会内にワーキングGrを設置し、素案の作成を推進。 ● 素案に基づく№2推進委員会・並びに№3推進委員会にて成案として地区行動計画(案)確定。 ● 2/24以降、各社協理事による書面審議を経て、第二次三和地区行動計画を完成させた。 	<p>☆現行行動計画見直し推進推進委員会月次開催目標</p> <p>★4/21 №1行動計画推進委員会開催</p> <p>★6/1 さわかぜ24号 行動計画推進委員会取組み紹介</p> <p>6月度役員会にて、内部ワーキングGrの設置を確認し、行動計画検討素案をまとめ、10/20・№2推進委員会へ検討素案として提示した。</p> <p>★10/20 №2行動計画推進委員会開催</p> <p>★11/17 №3行動計画推進委員会開催</p> <p>★12/1 さわかぜ26号 行動計画推進委員会進捗紹介</p> <p>★計画書最終確認 → 2/16</p> <p>★計画書書面審議 → 2/24</p> <p>★審議結果報告 → 3/22</p>											
2) 地域を支える担い手の発掘・育成	<p>・ 住民参加型事業の企画・実践を通じた活動意義の啓蒙を進め、次代を担う人材の育成につなげる。</p>	<p>1) 市内外を問わず先進事例の情報収集に努め、連携基盤の礎とする。</p> <p>2) 市社協と調整を図りながら新たな人材の育成・確保を目的とした講座・研修などの開催に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 残念ながら、右期初計画を実践するには至らなかった。 ● 変わりに県社協の福祉教育(三和地区学校の学生・児童対象)と連携した取組みに地区社協も加わるようになった。 ● したがって、学校側と連携した会議(右実績参照)に参画した。 ● なお、会の構成は光風台小、双葉中、市原高校、三和地区社協。 ● 社協は、事務局長と総務で担当頂いた。 	<p>☆先進事例収集</p> <p>☆応用検討</p> <p>☆育成講座トライアル</p> <p>★4/21 №1福祉教育会議参加</p> <p>★6/16 №2福祉教育会議参加</p> <p>★8/26 №3福祉教育会議参加</p> <p>★11/8 №4福祉教育会議参加</p> <p>★2/14 №5福祉教育会議参加</p>											
3) 活動財源確保に向けた取組み強化 (賛助会員募集の取組み)	<p>・ 自主財源を確保し、三和地区の主体的な地域福祉活動の充実をはかる。</p>	<p>・ 少子高齢化率の高い三和地区の地域特性に見合う地区独自の福祉施策推進に向けた自主財源の確保を目的に、賛助会員の募集事業に取組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区社協の自主財源確保と社協理事と地域との繋がりを強める目的から、2年振りの取組みとして賛助会員募集事業に取組んだ。(右実績参照) ● 結果、個人216口、団体143口、合計359口の協力を頂いた。(金額換算359,000円) ● この結果については、広報誌さわかぜ26号(三和地区全戸配布)に賛助会員協力御礼として報告掲載・地域へ周知した。 	<p>★4/21役員会にて取組み概要説明</p> <p>★5/19役員会にて取組み実施要領確認</p> <p>★6/25理事会にて取組み要請</p> <p>7/1 ← 8/31 会員募集期間</p> <p>★6/27 町会長宛て協力要請書発送</p> <p>★8/7 一次集金日</p> <p>★9/4 二次集金日</p> <p>9/4 ← 9/14 集計期間</p> <p>★9/15役員会集計結果報告</p>											

2022 年度 事業 報告 (養老小域福祉ネットワーク)

取組事業の要旨		22年度計画	22年度実績	計画 & 実績														
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
<p>◇養老小学校区小域福祉ネットワークとして、10町会の連携強化の下、学童および地域住民の福祉の向上に取組む。</p> <p>◇具体的な地域福祉施策として、以下、4点を事業の柱とする。</p>	<p>1)地域住民への福祉に資する諸施策の企画・立案・推進</p> <p>2)学区である養老小学校と連携した児童福祉施策の推進</p> <p>3)高齢者への福祉サービスの提供と健康寿命の伸長を目指す。</p>	<p>1)各事業の推進に向け、以下の会議体を運営する。</p> <p>①小学校との連携協議 ②役員会(4回/年) ③推進委員会(3回/年) ④町会長会議(1回/年) ⑤町会長・民生委員会議(1回/年)</p>	<p>1)各事業推進に向けた会議体の開催実績</p> <p>①例年通り学校側との連携を図る打合会議に参加した。 ②役員会4回/年→実績3回/年 ③推進委員会は計画通り開催 ④町会長会議は計画通り開催 ⑤町会長・民生委員会議計画通り</p>	★4/16 役員会		★5/7 推進委員会			★7/16 町会長会議		★9/17 役員会			★12/3 推進委員会		★2/18 役員会	★3/11 推進委員会	
I.児童福祉事業	◇学区である養老小学校と連携した児童福祉施策の推進。	<p>1)児童登校見守りを月次ベースで実施する。</p> <p>2)学校・PTAと連携し、環境美化作業に取組む。</p> <p>3)学校行事と連携した児童福祉活動推進。</p>	<p>1)登校時見守り活動の実施年間 15回実施した。</p> <p>2)学校環境美化活動 5月・8月除草作業・11月枝切作業を実施した。</p> <p>3)世代間交流事業 コロナ感染防止から中止とした。</p>	★見守り 4/6.7.11	★ 125/10	★ 6/10	★ 7/11			★ 9/1 & 9	★ 10/12	★ 11/10	★ 12/9	★ 1/6	★ 2/10	★ 3/10		
II.地域福祉事業	◇医療・緊急カードの常備推進。	<p>1)各町会単位で医療緊急カード更新案内を回覧する。</p> <p>2)追加・更新の要請に基づきカード・保管筒・表示ステッカーを配布する。</p>	<p>1)「緊急時連絡カード」等の新規発注数は以下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡カード 110枚 ・ステッカー 88枚 ・保管筒 100ヶ 						取組推進期間 更新実施									
III.高齢者福祉事業	◇安心生活見守り訪問制度の遂行。	<p>1)新規訪問員認定講習実施。</p> <p>2)訪問員活動報告の集計。</p> <p>3)訪問員フォローアップ研修の実施。</p>	<p>1)新規訪問員認定講習実施。(5/22 2名 & 1/29 2名)</p> <p>2)見守り活動状況を定期的に推進委員へ報告し、情報共有に努めた。</p> <p>3)訪問員フォローアップ研修を実施(3/11 15名参加)</p>	★ 5/22 訪問員認定講習											★ 1/29 訪問員認定講習		★ 3/11 安心訪問員 フォローアップ研修	
IV.地域活性化事業	<p>◇「よろう絆の会」として、歳末福祉事業を企画・実践する。</p> <p>◇昨年末の高齢者福祉ニーズ調査結果に基づき、買い物支援を新たな事業施策とし、その在り方を検討していく。</p>	<p>1)「よろう絆の会」として、歳末福祉事業の企画。</p> <p>2)具体的取組み内容の確認。</p> <p>3)買い物支援施策の検討。</p>	<p>1)「よろう絆の会」役員会にて歳末福祉事業の内容を検討。町会長・民生委員と共に地域の取組みとして事業展開した。</p> <p>2)買い物ツアー希望者の調査方法を検討し、調査を実施した。</p>										★ 12月事業展開					さわかぜ 27号にて「養老絆の会」の取組みを地域に紹介

取組事業の要旨		22年度計画	22年度実績	計画 & 実績											
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◇海上小学校区小域福祉ネットワークとして8町会の連携強化の下、小域圏に於ける地域福祉施策の前進に取り組む ◇具体的な地域福祉施策として、以下の4点を事業の柱とする	1) 地域住民への福祉に資する諸施策の企画・立案・推進 2) 学区である海上小学校と連携した児童福祉施策の推進 3) 高齢者への福祉サービスの提供と健康寿命の伸長を目指す	1)各事業の推進に向け、以下の会議を運営する ①推進委員会 (2回/年) ②委員会 (適宜) ③町会長・民生委員会議 (必要に応じ都度開催)	①推進委員会 (2回/年開催) ②役員会 (1回/年開催) フォローアップ研修・会議 ③町会長・民生委員会議 (2回/年開催) ④関係機関との連携	★4/24No1推進委員会						★10/23NO2推進委員会					
I. 児童福祉事業	◇学区である海上小学校と連携した児童福祉施策の推進。	1) 児童登校見守り 毎月第1水曜及び夏季・冬季・春季休明けの初登校日 学校登校指導日に併せ実施 2) 学校・PTAと連携した環境美化作業の取組み 3) 小学校資源ゴミ回収協業	1) 児童登校見守り 毎月第1水曜及び休み明け初登校日・学校登校指導日に併せ年17回実施 2) 学校・PTAと連携した環境美化作業年3回実施 3) 小学校資源ゴミ回収協業年2回実施	登校時見守り ★4/6.7.11.12 ★5/6 ★5/7.環境美化 ★4/8入学式 ★5/27運動会	★6/1		8月夏休み中止 ★7/6台風中止 ★7/16資源回収		★9/1.2.5 ★8/27環境美化(清掃用消耗品補充)	★10/5 ★11/2	★12/7		★2/1 ★1/6.10.11 ★2/18環境美化 ★1/21資源回収	★3/1 ★3/17卒業式	
II. 地域福祉事業	◇医療・緊急カードの常備推進	1) 常備状況の点検・確認 2) 不足カードの補充	1) 町会単位で記入カードを全世帯に配布すると同時に保管筒・ステッカーの不足を確認する 2) 記入カード全戸配布 保管筒17本配布 ステッカー20枚配布				★7/17No1町会長・民生委員会議 ★町会単位で記入カードを全世帯に配布 周知用広報紙配布			進め方協議 ★保管筒とステッカー不足配布 ★10/23推進委員会にて医療・緊急カード事業継続を表明					
III. 高齢者福祉事業	◇安心生活見守り訪問制度の遂行	1) 見守り訪問員認定講習 2) 見守り訪問活動の進捗管理 3) 訪問員フォローアップ研修の企画・実践 4) 歳末ふれあい福祉事業の企画・実践	1) 認定講習 (対象者6名) 4/24(5名)、6/5(1名) 2) 年初及び期中間推進委員会にて取り組み状況報告 3) 歳末ふれあい福祉事業の説明を兼ねて12/11実施 4) 昨年同様に新規訪問希望者勧誘活動を展開した	★4/24認定講習5名 ★見守り訪問	★6/5認定講習1名		各町会訪問員単位で延べ訪問回数436会 (3月末迄)			★10/18見守り訪問員交流会(訪問員1名+会長) ★7/17No1町会長・民生委員会議 (歳末ふれあい福祉事業企画検討)			★10/23NO2推進委員会 (歳末ふれあい福祉事業承認) ★歳末ふれあい福祉事業申請 ★12/11フォローアップ研修 ★12/11～事業展開		
IV. 地域活性化事業	◇「通いの場」の制度改定により、海上地区では各町会の自立した取組みを「集いの場」と改称。 ◇この「集いの場」を地域活性化施策の一環と位置づけ、地域の絆を強める取組みとして推進して行く。	1) 各町会ごとに実施する集いの場はネットワーク事業の延長戦上の取組みとして、予算化も含め具体化を図る 2) 前年実施したアンケート結果に基づき、買物支援施策の具体的検討に取り組む	1) コロナ感染症拡大により感染抑止として開催を見送りとし、予算化は継続とする 2) 買物支援について見守り対象者に聞き取り調査したが結果出ず継続とする ★町会単位で地域二一ズを検討する会議を推進する事にした				原則月1回の開催であったが、コロナ抑止の為、見送りとした						★歳末ふれあい福祉事業時聞き取り調査実施		
										★10/23NO2推進委員会にて承認					

2022年度事業報告(光風台ネットワーク部)

取組事業の要旨		22年度計画	22年度実績	計画 & 実績(見える化)																
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
◇ ネットワークを構成する地区14町会と連携し、小域圏における地域福祉事業を促進する。 ◇ 具体的な地域福祉事業は、児童・高齢者の見守り活動を基軸とし、以下、4点を事業の枢軸とする	1) 地域住民への福祉に資する諸施策の企画・立案・推進 ① 小学校との連携協議 ② 役員会(5回/年) ③ 推進委員会(5回/年)	1) 各事業の推進に向け、以下の会議体を運営する。 ① 小学校との連携協議 ② 役員会(4回/年) ③ 推進委員会(4回/年)	① 小学校との連携協議年4回の推進委員会において小学校発行紙や、校長或いは、教頭の校内の現状説明をもとに推進委員全体で認識・協議した。 ② 役員会実施日 6/13, 9/12, 12/12, 2/6, 3/6 ③ 推進委員会 4/24, 7/10, 10/23, 2/12		★4/24 推進委員会		★6/13 役員会		★7/10 推進委員会		★9/12 役員会		★10/23 推進委員会		★12/12 役員会		★2/6 役員会	★3/6 役員	★2/12 推進委員会	
I. 児童福祉事業	◇ 学区である光風台小学校と連携した児童福祉施策の推進。 ◇ 校庭の美化運動	1) 児童登校見守りを月次ベースで実施する。 2) 学校・PTAと連携し、環境美化作業に取り組む。	1) 児童登校見守り小・中学校の見守り活動について広報紙「あつたか福祉光風台」で紹介、併せて活動参加への募集を行い、1名の新規参加者が応募された。現在も小学校の見守りに活動に参加中。			見守り				見守り							見守り			
II. 地域福祉事業	◇ 医療・緊急カードの常備推進 ◇ 福祉講座の開催	1) 各町会単位で医療緊急カード更新案内を回覧する。 * 新型コロナウイルス感染拡大の為、中止	1) 6/13地域の災害時における停電に備え、携帯電話等の充電用太陽光蓄電器3台を購入し、光風台自治会館に装備した。 2) 10/2福祉講座開催「自分たちのすむまちの災害リスクと備え」講師:市原市危機管理課(参加者15名)				6/13 蓄電器装備			10/2 福祉講座開催										
III. 高齢者福祉事業	1) 通いの場事業「光風台ふれあいサロン」の支援 2) 通いの場事業「丘の上サロンの支援クリスマスのお菓子宅配	1) 光風台ふれあいサロン継続推進 2) 丘の上サロンの継続推進	1) 光風台ふれあいサロン月に4回程度開催、ただし8月、9月はコロナウイルス感染防止のため一時休止10月～再開、参加人数は毎回25名程度。 2) 丘の上サロン月に4回程度開催、ただし8月、9月はコロナウイルス感染防止のため一時休止10月～再開、参加人数は毎回15名程度で実施。 3) クリスマス菓子宅配12/17～12/24に対象者約230名に光風台小の児童作成のクリスマスカードを添えて担当民生委員が宅配した。			光風台ふれあいサロ				光風台ふれあいサロ							丘の上サロ			12/17～12/24 クリスマス菓子宅配
IV. 地域活性化事業	◇ 光風台団地内の迷惑駐車追放運動の実施 ◇ 移動販売「ふれあい便」	* 迷惑路上駐車を追放運動を推進	1) 10～11月に迷惑路上駐車を追放チラン、ポスターを作成し、掲示・回覧により周知した。 2) 移動販売車「ふれあい便」の運行毎週月曜日の午後、光風台内の8ヶ所に停車・販売を実施。										迷惑路上駐車							ふれあい便運行 (移動販売車)